

令和7年12月17日

TAC 一級建築士 学科対策 無料セミナー

**学習方法
よくある質問 30 解説**

オンラインライブクラス 担任

Webフォロー・ビデオブース講座・Web通信講座 担当

井澤 真悟

はじめに

Q1 : TACの合格率は？

→令和6年（2024年）一級建築士学科試験 86.3%（全国合格率23.3%の約4倍）

（演習提出率75%以上、公開模試正答率75%以上）

Q2 : TACはなぜ他の大手スクールの半額？

→TACが安いのではなく、他の大手スクールの受講料が高いだけ。

全般

Q3 : どうやったら合格できる？ 令和7年学科試験は「激むず」だったそうですが？

→過去12年分を9割正解できるように理解すれば合格できる。

→「激むず」（合格基準点88点、合格率16.5%、合格者数2,000人減）」だった令和7年も新規テーマが増えたわけではなく、過去に出題されたテーマが深堀りされて難度が上がっている。

→**対策① 過去問の理解の深さが応用力に繋がる。**

- ・常に「本質は何？」 「ポイントは何？」 「要するに何？」 「一言で言うと？」 という観点で深堀りすること。
- ・あくまで過去問で問われている内容の深堀りが大事。

【例】全熱交換器は必要外気量の多い建築物ほど効果が期待できるのはなぜ？

→一言でいうと、外気の温度や湿度を取り入れずに、また、室内の冷暖房している温度や湿度は捨てずに、新鮮空気だけを取り入れるから。

→**対策② 過去問は暗記事項の列挙ではなく、思考訓練の場と捉える。**

→井澤予想では、令和8年は反動できっと易しくなる！

Q 4：独学でも合格できる？ スクールに通わないと合格できない？

→① **学科試験**は、どっちでも合格できる。

- ・50%近くがスクールに通っていると想定される。
- ・違いは、目的地まで「歩くか」「新幹線に乗るか」。
- ・新幹線に頼ればラクに早く到着できる（ノウハウがあり、無駄がない）。
- ・言われたとおりの時刻に、言われたとおりに乗れば、予定期間に到着する。
- ・その代わり新幹線代がかかる。いやだったら自分の足で。
- ・井澤的には、時間をお金で買うのが良いと思う。
- ・方法を間違えると遠回りしてしまう。

→② **設計製図試験**は、課題用途が発表されてから2か月しかないので情報収集のため、個別の添削を受けるためにスクールに通わないと合格は難しい。

- ・85%近くはスクールに通っていると想定される。

Q 5：何時間ぐらい勉強すればよい？

→「平日2時間+週末6時間+隙間時間」が標準。個人差あり。時間ではなく「過去12年分を9割正解できるように理解」することが合格の条件。

Q 6：やる気が出ないときは？

→やる気が出る前に勉強を始める。

→10分あれば何かできる。

→「なりたい自分」「今まで頑張ってきた自分」「尊敬する人」「大切な人」が見たら「今の自分はどう映るだろう」と考えると行動が引き締まる。

→TACオンライン自習室 Herazika も有効。

→年末年始の線引きにはYoutube LIVE「井澤と一緒に線引しない？」もどうぞ。

Youtubeで検索。

Q 7：電車の中でできることは？

→Webトレーニング

→法規の勉強もできる。前日に法令集を使いながら問題集をじっくり解いた内容を覚えるのに使える。線引き見本PDFデータをスマホにダウンロードするのも有効。

Q 8：テキスト中心？ 問題集中心？

→まずは問題集。点の知識を線・面の知識にするためにテキスト。

Q 9：予習と復習どっちが大事？

→復習に全力を注ぐのがベスト！

- ・「予習で間違った覚え方をしてしまい、ずっと知識がリセットされない」「他のスクールの予習の宿題はテキストの該当箇所を探すのに時間がかかった」ってことありませんか？ それが予習としての宿題が効率的でない理由です。
- ・TACは完全復習型！

Q10：過去問だけでOK？　何年分の過去問をやるべき？

→過去問だけで絶対OK。ただし丸暗記ではだめ。

→12年分+ α 。TACは他のスクールより多い。項目別問題集で同じ論点をまとめているから負担は大きくない。

Q11：暗記が苦手です。どうしたらよい？

→リトリーバル（テキストや問題集を見た後すぐに、それらから目を離して自分の頭だけを使って内容を思い出し、繰り返す）。

→語呂合わせを考える。「語呂合わせジェネレーター」「ChatGPT」も有効。

Q12：総合学科本科生で追加申込をした「井澤式比較暗記法」はいつやるべき？

→各科目の講義が終わった時期と直前期がベスト。

→年末年始に部分的にでも井澤式比較暗記法に取り組めば、より理想的です。

- ・初受験者の場合には、最初に理解・暗記のコツをつかみ、合否を分けるポイントを先取りすることで、その後の学習を優位に進められる。
- ・受験経験者の場合には、自分に足りなかつた所が分かり、合格に大きく近づく実感を持てる。

Q13：学科をやっているときから製図もやっておくべき？

→その必要はない。学科合格後2か月の製図対策が不安ならば、学科合格時は製図をパスして翌年に備える。

学科Ⅰ 計画**Q14：実例建築物が苦手です。どうしたらよい？**

→2026年1月6日(火)19:30～無料オンラインセミナー

「令和8年やまかけ！実例建築物・建築作品・建築史」を行います。乞うご期待！

→字面で覚えようとせず、写真でイメージを持つことが必須。

→ブログ「井澤式実例暗記法」を活用。Excelにまとめる。

→実例建築物の出題は、少なからず過去問と表現を変えて出題される。

→覚えるべきものを絞る。3年前以前の過去問。

→普段から興味を持つ。業界新聞。日経アーキテクチュアなど。

→授業を聴いたら覚えられるというものではない。

Q15：数値が覚えられない。どうしたらよい？

→リトリーバル

→比較暗記法。まとめノート。

→寸法はメジャーを携帯。

→キモとなる数値（目線の高さ155cm。座って115cm）を理解。

学科II 環境・設備

Q16：音響と空調が苦手です。どうしたらよい？

- 音響について、周波数の高低（高音・低音）は、波長で「見える化」する。
- 「人の耳は低音には鈍感」「低音の処理は難しい」「低音は振動の性質を持つ」など、**分かりやすい言葉で理解**する。
- 空調は特に用語の理解が重要。「冷水」「冷却水」「顕熱」「潜熱」「全負荷運転」「部分負荷運転」など。
- 分かりやすい言葉で理解**する。
- 例①「全熱交換器」
→外気の温度や湿度を取り入れずに、また、室内の冷暖房している温度や湿度は捨てずに、新鮮空気だけを取り入れる機器。
- 例②「外気冷房方式」
→冬でも冷房が必要なときに、冷凍機を使わずに屋外の冷気を取り込む方式。

学科III 法規

Q17：去年の法令集を使ってもよい？

→NG

Q18：法令集の線引きを早く終えるには？

- Youtube LIVE「井澤と一緒に線引しない？」の冒頭のアドバイスをご参考に。
- 定規を使わずフリーハンド。
- 家族にアルバイトでお願いするのも手。

Q19：線引きはどこまでの工夫が許される？

- △×の記号はOK。凡例はNG。
- 脚注に手書きで参照条文の見出しを書かないようにする。
 - 「令36条P147」
 - ×「令36条（構造方法に関する技術的基準）P147」
- 参照箇所に向けて矢印を縦横無尽に引くのは1頁に3か所程度までを目安とする。

Q20：本試験で時間が足りない。どうしたらよい？

- ・本試験ではすべての選択肢を法令集で調べている時間はない。
- ・本試験では4肢の中から法令集で調べる**第一候補、第二候補**を決めてそれを調べる。第二候補も外れた場合は、**第三候補は飛ばして**次の問題に移る。
- ・第二候補も外れるような場合は、勉強量が足りなかつたか、その問題が難しい。
- ・普段の勉強では逆に、どうしたら本試験で早く解けるようになるかを「じっくり」考える。

→内容を覚えること。特に、過去問の誤りの出題のされ方を覚えることが重要。

- ・一級建築士試験は、ただし書の出題が多く、重箱の隅を付く出題が多い。
- ・誤りの出題のされ方を覚えていないと、なかなか本試験で重箱の隅を探すことはできない。

Q21：「過去問の誤りの出題のされ方を覚えること」とは具体的には？

例題 「都市計画法に基づき、開発許可を受けた開発区域内の土地について用途地域等が定められているときは、当該開発行為に関する工事が完了した旨の公告があった後に当該開発許可に係る予定建築物等以外の建築物を新築する場合であっても、都道府県知事の許可を受ける必要はない。（正）」

→はじめに都計法 42 条 1 項本文の意味を「開発許可を受けたときの予定建築物「以外」の建築物を新築するのは原則NG」と理解することが大事。そして、同項ただし書の意味を「用途地域等が定められているときは、建築基準法 48 条に基づく用途制限等で、適切な用途、規模に制限されるから例外的に新築できる」と理解し、覚えることが大事。

Q22：法規の内容の覚え方のコツはありますか？

→ブログで連載中の**井澤式比較暗記法【法規編】**で紹介しています！

法規も、①条文の内容を比較整理すること、②試験問題を比較整理して覚えること、③ゴロ合わせで覚えること——で得点がUPします。

Q23：普段の法規の勉強で時間が足りない。どうしたらよい？

→1. 初受験者の方へ

- ・初受験の問題集 1 回目に条文を「探す」のは「あてずっぽうで探す」のに近い状態。初受験の問題集 1 回目はまず解説で条文番号を確認して法令集を開く。そして、講義の内容も踏まえて次はどうやったらそこにたどり着けるかを考えて 2 回目に実際にたどり着けるかを確認する。
- ・考えても、調べても分からないものは「？」マークやフセンを付け、あまり長時間留まらずに次の問題に移る。どの程度の時間をかけられるかは、かけられる勉強時間とその週にやるべき問題の量によって決まる。

→2. 受験経験者の方へ

- ・毎回きれいな状態で問題を解くのではなく、前回までの下線などが残った状態で問題を解くのも有効。
- ・例えば「容積率の算定の基礎となる延べ面積」はひとまとめの用語なので、そこに下線を引いておく。
- ・法規の問題は一見では何が書いてあるのか、何を問われているのか分からぬからこの方法が有効。
- ・いつもきれいな状態で問題を解く場合には「①内容を理解する、覚える」訓練よりも「②何が書いてあるかを読み取る」訓練に多くの時間をかけることになる。

- ・本試験ではもちろん②も不可欠だが、①も②に負けず劣らず重要。①と②のバランスの問題。

学科IV 構造

→構造、法規の学習方法については、無料セミナー『構造・法規 [最重要2科目] 「できる人」と「できない人」の決定的な違い』も参考にしてください。

Q24：力学が苦手です。どうしたらよい？

→問題をよく読んで、公式をしっかり覚えて、繰り返し問題を解く。

→構造力学は少しずつ出来るようになるというよりは、コツをつかむと今までモヤモヤしていた霧が晴れて一気に出来るようになる。繰返し問題を解くのはそのきっかけをつかむためで、1回より2回、2回より3回解けば、コツをつかめるチャンスが広がる。

→不静定構造物は解法パターンが定型化されている。

Q25：計算ミスが多い。どうしたらよい？

→計算式は丁寧に書く。

→構造力学が苦手な人、算数、数学が苦手な人は「**構造力学計算ノート**」を作り、計算できなかつたもの、計算ミスをストックし、まとめる。履歴を残す。計算ノートにフセンを立てる。そうすると自分が苦手な計算が見えてくる。

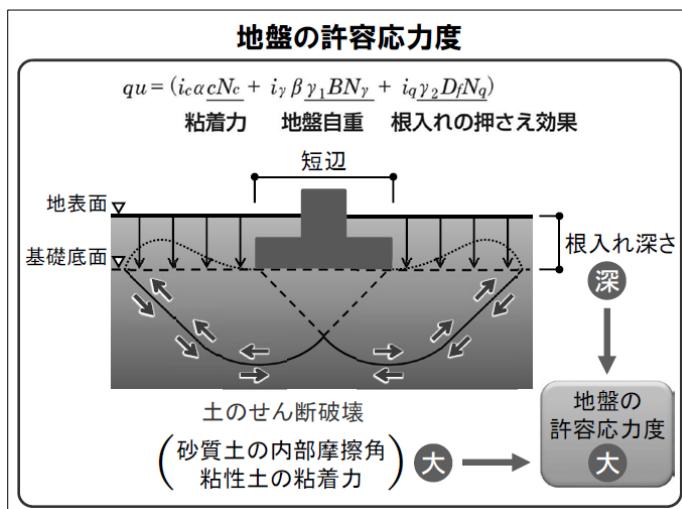
【例】「比」「分母が分数」

Q26：構造の文章問題が苦手。どうしたらよい？

→設問がイメージできているか簡単なイラストを描いて確かめる。

→用語をきちんと理解する。

→理解できないような難しい式を覚えようとするのではなく「直感的に理解できる考え方」を学ぶ。そのための講義。



学科V 施工

Q27：現場経験がないので施工が苦手。どうしたらよい？

- 現場経験がないのでイメージが持てない。→ネットで画像、動画を検索。
- 現場経験があるから有利とは必ずしも言えない。会社の独自基準があると迷うこともある。
- 用語をきちんと理解する。

Q28：数値が覚えられない。どうしたらよい？

- リトリーバル
- 数値はテキスト付録、井澤式比較暗記法、語呂合わせを活用。

付録18. 曲げ内法半径

部位		曲げ内法半径	テキスト頁	出題
鉄骨工事	梁、プレース端のハンチ等の塑性変形能力が要求される部位の曲げ内法半径	材料の板厚の8倍以上	227	R0713 H2713
設備工事	C D管・P F管の曲げ内法半径	管内径の6倍以上	401	H2720
耐震改修工事	柱の鋼板巻き補強の鋼板のコーナー部の曲げ内法半径	鋼板の板厚の3倍以上	428	R0222 H2722

覚え方

ハンチ8

C D管 6

改修3

「ハンパねえ SEAでロックな海舟さん」

全般

Q29：他の人の質問と回答を確認することはできる？

- ①オンラインライブクラスで行っている「本日の質問タイム」を
Web 講義でも配信しています。偶数回講義の 2 つ目のチャプターです。
- ②「学習サポート」「よくある質問」コーナーも活用してください。

The screenshot shows the WEB SCHOOL platform interface. At the top, there is a navigation bar with icons for notifications and user profile. Below the navigation bar, there are several tabs: 学習サポート (Learning Support), 学習記録 (Learning Record), ビデオブース予約・教室検索 (Video Booth Reservation / Classroom Search), 初めての方 (First-time User), 教材発送状況 (Material Dispatch Status), and ヘルプ (Help). A large sidebar menu is open on the left, listing various features: 教材 (Materials), 2026年目標 (2026 Goal), 建築士講座 26目標 (Architectural Engineer Course 26 Goals), Webミニテスト (Web Mini Test), 井澤ヒカル (Hikaru Imamura), 現在 質問メール (Current Question Mail), よくある質問 (Frequently Asked Questions), 正誤情報 (Right-Wrong Information), 講師からのメッセージ (Teacher's Message), 学習サポート一覧 (Learning Support List), Webトレーニング (Web Training), and カレンダー (Calendar). The main content area displays the 'Architectural Engineer Course 26 Goals' section, showing '933 人が学習中' (933 people are learning) and a progress bar at 42 / 144. There are also buttons for '学習をはじめる' (Start Learning) and '講座変更' (Change Course). At the bottom, there are filters for '月' (Month) and '週' (Week), and buttons for '学習時間集計' (Learning Time Summary) and '推移' (Progress).

Q30：合格するために一番大事なことは何ですか？

- ズバリ！真剣に「今年絶対に合格する！」と覚悟を決めることです。
なりふり構わず合格のためにすべてを捧げる覚悟です。

以上